



infonoid

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド 上場取引所 東
コード番号 4436 URL <https://minkabu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 瓜生 憲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理管掌 (氏名) 矢口 順子 TEL 03 (6274) 6490
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|--------|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 2,154 | △3.9 | 3 | △97.6 | △283 | — | △300 | — | △237 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | 2,242 | 62.5 | 144 | △47.4 | △157 | — | △175 | — | △164 | — |

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 △223百万円（－％） 2024年3月期第1四半期 △161百万円（－％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | △15.84 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | △10.99 | — |

（注）1. 2025年3月期第1四半期及び2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
2. EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 14,468 | 5,561 | 38.3 | 370.30 |
| 2024年3月期 | 14,838 | 6,184 | 41.6 | 411.81 |

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 5,548百万円 2024年3月期 6,170百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 26.00 | 26.00 |
| 2025年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年3月期（予想） | — | 0.00 | — | 26.00 | 26.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前年増減率）

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|--------|-------|-------|---|-------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 51.2 | 2,300 | 366.7 | 1,200 | — | 1,100 | — | 700 | — | 46.72 |

（注） 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）株式会社コンテンツモンスター、除外 1社（社名）-

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年3月期1Q | 14,983,000株 | 2024年3月期 | 14,983,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 23株 | 2024年3月期 | 23株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年3月期1Q | 14,982,977株 | 2024年3月期1Q | 14,976,177株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年8月14日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 9 |
| (セグメント情報等の注記) | 10 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 11 |
| (追加情報) | 12 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が2,154,684千円（前年同期比3.9%減）、営業損失は283,861千円（前第1四半期連結累計期間は157,459千円の営業損失）、経常損失は300,182千円（前第1四半期連結累計期間は175,201千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は237,323千円（前第1四半期連結累計期間は164,562千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）、また当社グループにおいて継続的な成長の指標の一つとして重視しているEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は3,436千円（前年同期比97.6%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間は、2023年9月1日付で完全子会社化した株式会社フロムワン（2023年3月31日付で完全子会社化したCWS Brains株式会社による吸収合併を2023年11月1日付で行い、商号を株式会社シーソーゲームに変更）の連結貢献の一方で、メディア事業では広告市況の回復の鈍さ、ソリューション事業では前期大型受注案件の反動減により、売上高は前年同期比で微減、利益面では前連結会計年度に実施した成長機会獲得のための先行投資の下期利益貢献に向けた費用が増加したことに伴い、前年同期を下回りましたが、これらの要因及び影響度は概ね期初想定通りの結果となっております。なお、特別利益として、マイノリティ出資先の株式売却による投資有価証券売却益を計上しております。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業は、ライブドア事業を核に、「ライブドアブログ」を中心としたUGC（User Generated Content）メディア、「ライブドアニュース」を中心としたPGC（Professional Generated Content）メディアに加え、スポーツ情報メディア「超WORLDサッカー!」、「SOCCERKING」、「BASEBALLKING」、「BASKETBALLKING」、「totoONE」、資産形成情報メディア「MINKABU（みんかぶ）」、女性向け情報メディア「Peachy」、韓流情報メディア「Kstyle」等の各専門メディア、「MINKABU Choice」並びに「livedoor Choice」の両生活情報サイトからなる月間平均ユニークユーザー数1億人規模の総合インターネットメディア事業を運営しており、これらメディアサイトの運営を通じて得られる広告売上並びに、有料サービスから得られる課金売上や、ライブドアモバイル、ライブドアショッピング、ライブドアバンクといった生活サービスにおける手数料収入、コンテンツ等企画・制作や施設運営、イベント運営等のビジネス売上等を収益に計上しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、株式会社シーソーゲームが連結業績に貢献した一方で、広告市況の回復は鈍く、また一部運営サイトではトラフィックが軟調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,128,176千円となり、前年同期の1,304,428千円から176,251千円減少（前年同期比13.5%減）しておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上高には2024年3月期第2四半期より適用している持株会社体制でのマネジメントフィー等の支払額226,500千円を含んでおり、これを戻した売上高は1,354,676千円であり、マネジメントフィー等の適用を行っていなかった前年同期と同基準での比較では50,248千円の増収（同3.9%増）となります。また同様にセグメント損失は287,952千円であり、前年同期の90,961千円の損失から196,991千円の悪化となりますが、マネジメントフィー等考慮前セグメント損失は61,452千円であり、前年同期比29,508千円の改善となっております。広告市況が弱含む厳しい環境下において底堅く推移いたしました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業は、主にメディア事業向けに開発した情報コンテンツやアプリケーションを多様な金融機関向けにコンバートし、さらにその差別化ニーズに即したカスタマイズを行う等のB2B及びB2B2Cユース用に展開する情報ソリューションを展開しております。加えて、金融機関向けにソリューション分野における顧客基盤拡大やソリューションノウハウの獲得を目的に、当社グループ独自に開発したアプリケーションやAPI（Application Programming Interface）を活用し、主に金融機関の内部システムの高度化、効率化に資するためのSI・パッケージソリューションを展開しております。また、株式情報専門メディア「Kabutan（株探）」の運営を行っております。情報系ソリューションサービスにつきましては主にクラウド型のASP提供に係る一時売上としての初期導入費及び月額固定やID従量に基づくサブスクリプション収益を、SI・パッケージソリューションではシステムの企画・コンサルティングをはじめ、顧客先の要件に合わせたシステムの受託開発によるスポット収入及びその保守・運用業務によるストック収入を計上しております。また、「Kabutan（株探）」につきましては、有料サービスから得られる課金売上等を収益に計上しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、情報系ソリューションにおいて、前連結会計年度のサービスの一部値上げやサービス導入先の増加による月額利用料の拡大が進み、有料サービスである「Kabutan（株探）Premium」も堅調に推移した一方で、システム系ソリューションにおける前第1四半期連結累計期間の大型開発案件の受注反

動減の影響を受けました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は732,684千円となり、前年同期の938,443千円から205,759千円減少（前年同期比21.9%減）しておりますが、メディア事業と同様、2024年3月期第2四半期から適用しているマネジメンフィー等の支払額136,673千円考慮前の売上高は869,357千円であり、マネジメンフィー等の適用を行っていなかった前年同期と同基準での比較での減収額は69,085千円（同7.4%減）にとどまっております。同様に、セグメント損失は106,124千円であり、前年同期のセグメント利益176,810千円から282,935千円の悪化（同160.0%減）となりますが、マネジメンフィー等考慮前セグメント利益は前年同期比146,262千円減（同82.7%減）の30,548千円であり、売上高、利益ともに概ね期初想定範囲での着地となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,825,452千円となり、前連結会計年度末に比べ306,582千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が476,937千円減少したこと、売掛金が544,826千円減少した一方で、イベント運営に係る契約金等の支払いにより前渡金が655,434千円増加したこと等を要因としたものであります。

固定資産は10,643,481千円となり、前連結会計年度末に比べ63,348千円の減少となりました。これは主に、ソフトウェア開発投資によりソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が合計で155,484千円増加した一方で、のれん及び顧客関連資産が減価償却により合わせて129,366千円減少したこと、マイノリティ出資先の株式の売却等により投資有価証券が78,254千円減少したこと等を要因としたものであります。

これらの結果、資産合計は14,468,933千円となり、前連結会計年度末の14,838,864千円から369,931千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,206,257千円となり、前連結会計年度末に比べ472,092千円の増加となりました。これは主に買掛金が14,043千円増加したこと、短期借入金が700,000千円増加した一方で、未払費用が77,214千円減少したこと、未払法人税等が54,744千円減少したこと、並びに未払消費税等が61,024千円減少したこと等を要因としたものであります。

固定負債は5,700,950千円となり、前連結会計年度末に比べ218,896千円の減少となりました。これは主に長期借入金が約定弁済により183,750千円減少したことを要因としたものであります。

これらの結果、負債合計は8,907,207千円となり、前連結会計年度末の8,654,011千円から253,196千円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,561,725千円となり、前連結会計年度末の6,184,853千円から623,127千円の減少となりました。これは主に、資本金の減資実行額を資本剰余金へ振替後、資本剰余金を原資とする普通配当支払等を行ったことにより、資本金及び資本剰余金が合わせて389,557千円減少したこと、利益剰余金が237,322千円減少したこと等を要因としたものであります。

これらの結果、自己資本比率は38.3%（前連結会計年度末は41.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在当社グループは、グループ事業資産を活用したNext Stepに向けた大きな成長機会を得ていると捉えております。2024年3月期におきましては、既存事業の売上が外部要因により弱含む状況下、その先を見据え、今後の収益規模の拡大及び収益の多様化に向け、前倒しで具体化した収益多様化策であるモバイル・EC・銀行分野への進出、顧客接点の更なる収益化のためのコンテンツ分野への実績作り、並びにソリューション事業の顧客金融機関との新たな事業接点となる投資助言・金融商品仲介等の金融サービス分野への進出や自社ソリューション事業資産のパッケージ化をはじめ、今後の成長機会獲得のための積極投資を前倒しで推進いたしました。これにより中期計画に掲げた収益多様化につきましては、1年超前倒しで成果を上げられる状況となりました。

2025年3月期におきましては、メディア事業・ソリューション事業ともに既存事業の持続的成長に加え、成長機会獲得のための先行投資案件の収益寄与の本格化等により、連結売上高は2024年3月期比51%増の15,000百万円と、上場来最大の約50億円という大幅増収を、また連結営業利益は1,200百万円、連結経常利益は1,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は700百万円、EBITDAは2,300百万円と、2024年3月期に比較して大幅な増益を見込んでおります。なお、前期に実施した収益多様化のための先行投資にかかる新規の大型な収益獲得機会が下半期に集中し、上半期はその準備にかかる固定費が先行することから、2025年3月期におきましても下期偏重の収支計画を想定しております。

当社は、中期計画初年度である2024年3月期において、外的事業環境が厳しくなる状況下、収益多様化施策やPMI等を通じた費用削減を始めとする変革・合理化や新たな収益モデルを生み出すための価値創造を行ってまいりました。2025年3月期におきましてもこれらの施策を継続し、その成果を早期に具現化し、中期計画へのキャッチアップを図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,047,745 | 1,570,807 |
| 売掛金 | 1,596,775 | 1,051,949 |
| 商品 | 517 | 1,061 |
| 仕掛品 | 34,226 | 68,126 |
| 貯蔵品 | 13,818 | 12,916 |
| その他 | 448,809 | 1,127,413 |
| 貸倒引当金 | △9,858 | △6,822 |
| 流動資産合計 | 4,132,034 | 3,825,452 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 824,868 | 806,178 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,497,481 | 3,429,251 |
| 顧客関連資産 | 3,138,453 | 3,077,317 |
| 技術資産 | 45,275 | 42,479 |
| ソフトウェア | 1,389,456 | 1,559,283 |
| ソフトウェア仮勘定 | 476,008 | 461,666 |
| その他 | 42,491 | 41,202 |
| 無形固定資産合計 | 8,589,166 | 8,611,199 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 560,518 | 482,264 |
| 差入保証金 | 410,879 | 410,469 |
| 繰延税金資産 | 289,647 | 297,897 |
| その他 | 36,370 | 40,093 |
| 貸倒引当金 | △4,621 | △4,621 |
| 投資その他の資産合計 | 1,292,794 | 1,226,103 |
| 固定資産合計 | 10,706,829 | 10,643,481 |
| 資産合計 | 14,838,864 | 14,468,933 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 298,504 | 312,547 |
| 短期借入金 | 608,000 | 1,308,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 935,000 | 935,000 |
| 未払法人税等 | 64,331 | 9,586 |
| その他の引当金 | 51,134 | 18,562 |
| その他 | 777,194 | 622,560 |
| 流動負債合計 | 2,734,164 | 3,206,257 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,640,000 | 5,456,250 |
| 資産除去債務 | 114,409 | 114,409 |
| その他 | 165,437 | 130,291 |
| 固定負債合計 | 5,919,846 | 5,700,950 |
| 負債合計 | 8,654,011 | 8,907,207 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,534,975 | 320,000 |
| 資本剰余金 | 3,806,635 | 6,632,052 |
| 利益剰余金 | △1,199,528 | △1,436,850 |
| 自己株式 | △93 | △93 |
| 株主資本合計 | 6,141,988 | 5,515,108 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,202 | 33,049 |
| その他の包括利益累計額合計 | 28,202 | 33,049 |
| 非支配株主持分 | 14,662 | 13,568 |
| 純資産合計 | 6,184,853 | 5,561,725 |
| 負債純資産合計 | 14,838,864 | 14,468,933 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,242,871 | 2,154,684 |
| 売上原価 | 1,294,010 | 1,277,571 |
| 売上総利益 | 948,861 | 877,112 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,106,321 | 1,160,973 |
| 営業損失(△) | △157,459 | △283,861 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金戻入額 | 722 | 1,127 |
| その他 | 1,334 | 2,166 |
| 営業外収益合計 | 2,057 | 3,294 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,933 | 18,434 |
| 支払保証料 | 550 | 243 |
| 資金調達費用 | 301 | — |
| 為替差損 | 1,409 | 937 |
| その他 | 2,604 | 0 |
| 営業外費用合計 | 19,798 | 19,615 |
| 経常損失(△) | △175,201 | △300,182 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 20,000 |
| 特別利益合計 | — | 20,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,960 | 3 |
| 特別損失合計 | 2,960 | 3 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △178,161 | △280,185 |
| 法人税等 | △21,365 | △41,767 |
| 四半期純損失(△) | △156,795 | △238,417 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 7,766 | △1,094 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △164,562 | △237,323 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △156,795 | △238,417 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,798 | 15,393 |
| その他の包括利益合計 | △4,798 | 15,393 |
| 四半期包括利益 | △161,594 | △223,024 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △169,360 | △221,929 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7,766 | △1,094 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2023年5月30日 取締役会 | 普通株式 | 389,380 | 26 | 2023年3月31日 | 2023年6月16日 | 資本剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2024年5月28日 取締役会 | 普通株式 | 389,557 | 26 | 2024年3月31日 | 2024年6月29日 | 資本剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年6月28日開催の定時株主総会の決議に基づき、2024年6月28日付で減資の効力が発生し、資本金の額3,214,975千円、資本準備金の額2,654,975千円を減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が320,000千円、資本剰余金が6,632,052千円となっております。

なお、株主資本の合計金額に著しい変動はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において株式会社コンテンツモンスターを新たに設立したため、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書計 上額(注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | メディア事業 | ソリューション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 広告 | 1,250,441 | — | 1,250,441 | — | 1,250,441 |
| 課金 | 35,624 | — | 35,624 | — | 35,624 |
| メディア・その他 | 18,361 | — | 18,361 | — | 18,361 |
| ストック収入 | — | 615,839 | 615,839 | — | 615,839 |
| 初期・一時売上 | — | 322,603 | 322,603 | — | 322,603 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,304,428 | 938,443 | 2,242,871 | — | 2,242,871 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,304,428 | 938,443 | 2,242,871 | — | 2,242,871 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,304,428 | 938,443 | 2,242,871 | — | 2,242,871 |
| セグメント利益又は損失(△) | △90,961 | 176,810 | 85,849 | △243,309 | △157,459 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△243,309千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディア事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、当社の完全子会社である株式会社ライブドアが株式会社シンクロライブの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんは暫定的に算出された金額でありましたが、第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定しております。この結果、のれん290,569千円を計上しております。

なお、当該確定に伴うのれん金額の修正はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、当第1四半期連結会計期間において、グループ事業戦略推進のための機動力を高める目的で、株式会社ライブドアにメディア事業を会社分割により事業承継いたしました。その中で、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制等の観点から経営管理手法を見直し、報告セグメントの変更を実施いたしました。その結果、従来「メディア事業」に含めて開示しておりました株探プレミアムの課金収益を、当第1四半期連結会計期間より「ソリューション事業」に移管、また、販売管理費の一部について、セグメント人員数により按分する方法から全社費用として調整する方法に変更しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書計 上額(注)2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | メディア事業 | ソリューション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 広告 | 1,039,901 | — | 1,039,901 | — | 1,039,901 |
| 課金 | 27,328 | — | 27,328 | — | 27,328 |
| メディア・その他 | 266,969 | — | 266,969 | — | 266,969 |
| ストック収入 | — | 666,199 | 666,119 | — | 666,119 |
| 初期・一時売上 | — | 154,365 | 154,365 | — | 154,365 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,334,199 | 820,485 | 2,154,684 | — | 2,154,684 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,334,199 | 820,485 | 2,154,684 | — | 2,154,684 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | △206,022 | △87,800 | △293,823 | 293,823 | — |
| 計 | 1,128,176 | 732,684 | 1,860,861 | 293,823 | 2,154,684 |
| セグメント損失(△) | △287,952 | △106,124 | △394,077 | 110,216 | △283,861 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額110,216千円は、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用であり、全社収益は主に各事業セグメントからのマネジメントフィー、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。なお、前第2四半期連結会計期間より、グループ各社からマネジメントフィーを徴収しており、各事業セグメントのセグメント損失(△)は、本マネジメントフィーを控除した金額であります。上記メディア事業のセグメント損失287,952千円に含まれるマネジメントフィーは226,500千円であり、本費用控除前のセグメント損失は61,452千円、上記ソリューション事業セグメントのセグメント損失106,124千円に含まれるマネジメントフィーは136,673千円であり、本費用控除前のセグメント利益は30,548千円であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(のれん償却後)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 224,102千円 | 219,067千円 |
| のれんの償却額 | 77,626 | 68,230 |

(追加情報)

(子会社の設立)

当社は、2024年3月15日開催の取締役会決議において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、2024年4月1日に設立いたしました。

1. 設立の目的

この度、当社は、①当社グループのメディア価値の更なる向上を目的としたコンテンツ供給力の強化、②コンテンツをフックとしたマーチャндаイジングビジネスの拡充、③創造するコンテンツ自体の収益貢献による収益源の更なる多様化を目的に、新たな子会社として株式会社コンテンツモンスター（以下「新会社」）を設立いたしました。同時に、これまで当社が提供していた「推しパス」の提供、並びに定期開催を予定している大型K-POPイベント「Kstyle PARTY」の運営に係る事業を新会社に全て移管し、当該事業の更なる発展を目指します。

2. 子会社の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 名称 | 株式会社コンテンツモンスター |
| (2) 所在地 | 東京都港区東新橋一丁目9番1号 |
| (3) 代表者 | 代表取締役会長 兼 CEO 瓜生 憲 代表取締役社長 兼 COO チェ・ジョンファン |
| (4) 事業の内容 | 会員向けサービス事業、各種コンテンツ制作・運営・流通事業等 |
| (5) 資本金 | 10,000千円 |
| (6) 設立の年月日 | 2024年4月1日 |
| (7) 発行済株式数 | 100株 |
| (8) 出資比率 | 当社100% |